

日本保健物理学会第47回研究発表会プログラム

第1日目 6月19日(木) (午前)

A会場	B会場	C会場
<p>開会式・学会賞授与式 9:00~9:30</p>		
<p>第2期福島プロジェクト 特別シンポジウム 9:30~11:00 座長：時澤孝之（原子力機構）</p>		
<p>S-1 福島事故と放射線防護 ○小佐古敏荘（東京大）</p> <p>S-2 提言策定の背景・考え方 ○飯田孝夫（名古屋大）</p> <p>S-3 第2期学会提言案について ○服部隆利（電中研）</p> <p>S-4 議論</p>		
<p>福島原発事故関連 1 11:05~12:05 座長：大越 実（原子力機構）</p>	<p>放射線計測 11:05~12:20 座長：服部隆利（電中研）</p>	<p>放射線影響 11:05~12:20 座長：酒井一夫（放医研）</p>
<p>A-1 福島第一原子力発電所における環境モニタリングについて ○平 純一、菅井研自、白木洋也、清水 健、岩崎靖人、奥山茂、藤森昭彦、込山有人（東京電力）</p>	<p>B-1 イメージングプレートを用いたCs137とSr90-Y90の識別（2） 中山高宏、大橋 改、山内知也、○小田啓二（神戸大）</p>	<p>C-1 二動原体染色体を指標とした線量率効果の定量的解析とメカニズムの実験的探索 ○小嶋光明、甲斐倫明（大分科大）</p>
<p>A-2 東京電力福島第一原子力発電所の事故後の被ばく線量評価・状況について ○林田敏幸、鈴木 晃、尾田英樹、上野敏弘、後藤真佳（東京電力）</p>	<p>B-2 簡略化サムピーク法の開発とその応用例 ○緒方良至（名古屋大）、宮原洋（岐阜医療大）、石原正司（名古屋大）、石樽信人、山本誠一、西尾昌明（名古屋大）</p>	<p>C-2 造血幹細胞および前駆細胞の負フィードバック数理モデルによる造血細胞動態の分析 ○甲斐倫明、川野有梨沙、石川純也、小嶋光明（大分科大）</p>
<p>A-3 災害時の新聞報道と災害対応の関連に関する考察 ○占部逸正（福山大）</p>	<p>B-3 サムピーク法による¹³⁴Cs放射能の決定 ○緒方良至（名古屋大）、宮原洋（岐阜医療大）、石原正司（名古屋大）、石樽信人、山本誠一、西尾昌明（名古屋大）、小島貞男（愛知医大）</p>	<p>C-3 ヒト正常線維芽細胞における放射線照射後の細胞動態の分析 ○石川純也（大分科大・弘前大）、安藤美佳、日名子詩穂里、森麻紀子、小嶋光明、甲斐倫明（大分科大）</p>
<p>A-4 東電福島原発事故後の食品摂取に伴う線量推計—食品モニタリング調査と陰膳調査の比較— ○山口一郎、寺田 宙（保健医療科学院）、杉山英男（松本大）、飯島育代、酒井康宏（神奈川衛研）、三宅定明（埼玉衛研）、太田智子（分析センター）、児玉浩子（帝京大）、樺田尚樹（保健医療科学院）</p>	<p>B-4 プラスチックシンチレータを用いた低エネルギーベータ線計測 ○古田悦子、岩崎紀子（お茶大）、大山龍一郎、横田繁昭（東海大）、吉村共之、加藤結花、萩原 清（日立アロカ）</p>	<p>C-4 細胞レベルの吸収線量分布から推定した内部被ばくと外部被ばくの生物学的効果比 ○佐藤達彦、真辺健太郎（原子力機構）、浜田信行（電中研）</p>
	<p>B-5 α線及びβ線の自己吸収の影響 ○伊知地猛（電中研）</p>	<p>C-5 ヒト正常初代水晶体上皮細胞の放射線応答 ○浜田信行、藤通有希（電中研）</p>

A会場	B会場	C会場
昼食		
総会 13:00~14:00		
特別講演 1 米国HPSフィッシャー会長 14:00~15:30 座長：小佐古敏荘（東京大）		
特別講演 2 岡山大学耐災安全・安心センター 鈴木和彦センター長 15:30~16:30 座長：竹中信吾（原子力機構）		
福島原発事故関連 2 16:35~17:50 座長：小田啓二（神戸大）	ラドン・環境放射線（能） 1 16:35~17:50 座長：稲垣昌代（近畿大）	
A-5 無人航空機モニタリングシステム UARMSの開発 ○真田幸尚、山田 勉、西澤幸 康、鳥居建男（原子力機構）、村 岡浩治、穂積弘毅（JAXA）	B-6 呼吸気道モデルによるラドンの線 量換算係数の導出 ○石榑信人（名古屋大）、岩井勇 磨（愛媛大）、福岡将太郎（名古屋 大）	
A-6 無人ヘリコプターを用いた河川敷 における放射線分布測定結果 ○西原克哉、平山弘克、石田睦 司、真田幸尚、鳥居建男（原子力 機構）	B-7 トロン-エアロゾルチャンパーを 用いたパッシブ型トロン子孫核種 濃度モニタに関する研究 ○反町篤行（福島医大）、床次真 司（弘前大）、大森康孝、石川徹 夫（福島医大）	
A-7 In-situ水底放射線分布測定手法の 開発 ○土田清文、高村善英、卜部 嘉、石橋 聖、真田幸尚、鳥居建 男（原子力機構）	B-8 寒冷地域における室内ラドン濃度 に関する調査 ○反町篤行（福島医大）、Chanis Pornnumpa、床次真司、細田正洋 （弘前大）、大森康孝、石川徹夫 （福島医大）	
A-8 緊急時モニタリングにおける測定 高さによる空間放射線量率変化の 実際 ○羽場梨沙、山田純也、瀬谷夏 美、武藤保信、橋本 周、清水武 彦、高崎浩司（原子力機構）	B-9 高自然放射線地域におけるラド ン・トロン濃度調査 ○床次真司、細田正洋（弘前 大）、秋葉澄伯（鹿児島大）、石 川徹夫（福島医大）、Sarata K. Sahoo（放医研）、反町篤行、大森 康孝（福島医大）、赤田尚史（核 融合研）、工藤ひろみ、Paitoon Wanabongse、Chanis Pornnumpa、 Yanliang Tan（弘前大）、岩岡和 輝（放医研）	
A-9 アンフォールディング手法を適用 したNaIシンチレータ式放射能分析 装置 ○西沢博志、林 真照、東 哲 史、中西正一、仲嶋 一、多久島 秀（三菱電機）、赤野竜斗、金 政浩、渡辺幸信（九州大）	B-10 インド・オリッサ州高自然放射線 地域におけるラドン・トロン吸 入に起因する被ばくの線量評価 ○大森康孝（福島医大）、Ganesh Prasad（インド・ガルワル大）、 Vidya Sagar（Indian Rare Earths Limited）、Sarata Kumar Sahoo（放医研）、反町篤行（福島 医大）、Miroslaw Janik（放医 研）、石川徹夫（福島医大）、床 次真司（弘前大）、Rakesh Ramola （インド・ガルワル大）	
懇親会（C会場） 18:00~20:00		

A会場	B会場	C会場
<p>福島原発事故関連3 9:00~10:15 座長：飯本武志(東京大)</p>	<p>ラドン・環境放射線(能)2 9:00~10:00 座長：反町篤行(福島医大)</p>	<p>リスク評価 9:00~10:00 座長：藤川陽子(京大)</p>
<p>A-10 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に係る個人線量の特性に関する調査 ○酒井一夫、大町 康、赤羽恵一、取越正己(放医研)、高田真志(防衛大)、高田千恵、百瀬琢磨(原子力機構)</p>	<p>B-11 人形峠周辺の環境監視結果 ○小野高行、石森 有、川崎 悟、安藤正樹(原子力機構)</p>	<p>C-6 放射線疫学調査における対象者の被ばく線量に関連する特性 ○工藤伸一、大島澄男、吉本恵子、石田淳一、水野正一、笠置文善(放影協)</p>
<p>A-11 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に係る個人線量の特性に関する調査(2) 線量計の特性 ○小島尚美、星 勝也、山崎 巧、高田千恵、百瀬琢磨(原子力機構)、高田真志(防衛大)</p>	<p>B-12 ウラン鉱山跡措置後の環境測定 ○石森 有、田中裕史、迫田晃弘(原子力機構)</p>	<p>C-7 Provability index(証明可能性の指標)~確率的影響に対する防護レベルの深さを表現する新しい方法~ ○荻野晴之、服部隆利(電中研)</p>
<p>A-12 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に係る個人線量の特性に関する調査(3) 現地試験(1)(空間線量率及びγ線エネルギースペクトルの測定結果と人体に着用した個人線量計の応答) ○大町 康、酒井一夫、赤羽恵一、栗原 治、矢島千秋、取越正己、及川将一、金ウングジュ、高島良夫、四野宮貴幸、藤島 亮、米原英典(放医研)、高田真志(防衛大)、大森康孝(福島医大)、百瀬琢磨、高田千恵、中川貴博、山崎 巧、滝本美咲、星 勝也、中村圭祐、佐川直貴、谷村嘉彦、高橋史明(原子力機構)</p>	<p>B-13 ベトナム国における希土類鉱山開発と放射線防護 ○河田陽介(三菱マテリアル)、柴田芳彰(三菱マテリアルテクノ)、相波良行(豊通レアアース)</p>	<p>C-8 太陽紫外線曝露が大腸がんリスクを低下させる ○高田 純、村橋祐樹、中村泰幸(札幌医大)</p>
<p>A-13 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に係る個人線量の特性に関する調査(4) 現地試験(2) 空間線量率、γ線エネルギースペクトルの測定結果とファントム上の個人線量計の応答 ○山崎 巧、高田千恵、中村圭祐、佐川直貴、星 勝也、中川貴博、滝本美咲、谷村嘉彦、高橋史明、百瀬琢磨(原子力機構)、酒井一夫、矢島千秋、取越正己、藤島 亮、米原英典(放医研)、高田真志(防衛大)、大森康孝(福島医大)</p>	<p>B-14 沖縄本島に分布する土壌のラドン散逸係数とその特徴 ○城間吉貴、喜納正剛、藤谷卓陽、古川雅英(琉球大)、反町篤行、石川徹夫(福島医大)、細田正洋、床次真司(弘前大)、サフーサラタ クマール(放医研)</p>	<p>C-9 ICRP2007年勧告に基づく宇宙飛行士の被ばく線量限度の見直しについて ○佐藤 勝、松村智英美、金子祐樹(JAXA)、高木俊治(三菱総研)、緒方克彦(JAXA)</p>
<p>A-14 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に係る個人線量の特性に関する調査(5) 線量推計 ○矢島千秋、大町 康、酒井一夫、赤羽恵一、栗原 治、取越正己、高島良夫、四野宮貴幸、藤島 亮、米原英典(放医研)、高田真志(防衛大)、大森康孝(福島医大)、百瀬琢磨、高田千恵(原子力機構)</p>	<p>放射線管理 10:00~11:30 座長：伊知地猛(電中研)</p>	<p>線量評価 10:00~11:30 座長：古田定昭(原子力機構)</p>
<p>A-15 旧警戒区域内で2011年に採材された被災動物の初期外部被ばく線量推定 ○林 剛平(東北大)、遠藤 暁(広島大)、沢野伸浩(金沢星稜大)、高橋慎太郎、木野康志(東北大)、今中哲二(京大)、福本 学(東北大)</p>	<p>B-15 人形峠環境技術センターにおける「放射性廃棄物でない廃棄物」の導入について ○吉次雄一、辻中秀介、後藤浩仁、藤田正人、西村善行、奥井正弘、伊藤公雄、小野高行(原子力機構)</p>	<p>C-10 MOX燃料施設における眼の水晶体の線量測定の実状と課題 ○山崎 巧、高田千恵、辻村憲雄、石川 久(原子力機構)</p>

- A-16 数値シミュレーションによるI-131を対象とした甲状腺計測の検討
○谷幸太郎、栗原 治、金ウング、酒井一夫、明石真言（放医研）
- B-16 旧JRR-3の改造工事に伴って発生したコンクリートのクリアランス作業における放射線管理
○古谷美紗、青柳寛之、白土佳宏、野嶋 峻、中川雅博、大塚義和、新沼真一、酒井俊也、武藤康志、南里朋洋、矢野宣仁、梅原隆（原子力機構）
- C-11 MOX燃料施設におけるグローブボックス周囲の線量率マッピング
○森下祐樹、佐川直貴、菅 巧、辻村憲雄、吉田忠義、永井博行（原子力機構）
- A-17 福島第一原子力発電所事故に係る体外計測の数値シミュレーション
○金ウング、栗原 治、酒井一夫、明石真言（放医研）
- B-17 ウラン系廃棄物を対象としたγ線による非破壊測定に対するニーズと現状
○杉杖典岳、秦 はるひ、時澤孝之、小原義之、横山 薫（原子力機構）
- C-12 新型ガラスパッジの開発
○上野智史、宇部道子、長島祐香里、篠崎和佳子、牧 大介、小口靖弘、竹内宣博（千代田テクノロジー）
- A-18 下水汚泥焼却灰等のセシウム除染試験
○藤川陽子（京都大）、尾崎博明、魏ホウヒ、津野 洋、藤長愛一郎、谷口省吾、高浪良平（大阪産大）、ポール・ルータス（エディスコワン大）、櫻井伸治（大阪府大）、藤原慶子（京都大）
- B-18 γ線スペクトルを用いた核種組成簡易分類手法の構築
○秦はるひ、時澤孝之、小原義之、横山 薫、杉杖典岳（原子力機構）
- C-13 ガンマ線サーベイメータの校正に及ぼす室内散乱の影響について
○星 勝也、吉田忠義、辻村憲雄、石川 久（原子力機構）
- A-19 福島県における放射性セシウム捕捉ポテンシャル（RIP）の分布
○塚田祥文（福島大）、山口紀子（環境研）、武田 晃（環境研）、高田裕介、神山和則（環境研）、大瀬健嗣（福島大）
- B-19 アクティブ中性子NDA測定装置に使用される超小型加速器の安全評価
○在間直樹、時澤孝之、中塚嘉明、中島伸一、吉田英明、呉田昌俊、大岡 章、高瀬 操、香山満夫、米田政夫（原子力機構）、藤木直樹（人形峠原産）
- C-14 トラックに積載された除染廃棄物の非破壊検査測定器の開発
○鈴木敦雄、山之内壽彦、村松勇、箕輪和樹（キャンベラジャパン）、納多 勝、高田尚哉、山崎啓三（大林組）、フレイザー ブロンソン（キャンベラインダストリー）
- B-20 東海再処理施設周辺の畑土中ヨウ素-129の結合形態調査
○横山裕也、藤田博喜、小嵐 淳（原子力機構）

第2日目 6月20日（金）（午後）

A会場	B会場	C会場
昼食		
<p>福島原発事故関連5 13:30～14:30 座長：金ウング（放医研）</p>	<p>医療被ばく1 13:30～14:15 座長：川浦稚代（名古屋大）</p>	<p>防災・緊急時対応 13:30～15:15 座長：占部逸正（福山大）</p>
<p>A-20 福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の長期的影響把握手法の確立—道路周辺の空間線量率測定と環境半減期導出— ○木名瀬栄、佐藤仁士（原子力機構）、坂本隆一（放計協）、齊藤公明（原子力機構）</p>	<p>B-21 CT診断に伴う臓器線量の年齢別・体型別の線量係数データベースの構築 ○佐藤 薫、高橋史明、遠藤 章（原子力機構）、小野孝二（東京医大）、長谷川隆幸、勝沼 泰（東海大）、吉武貴康（新別府病院）、伴 信彦（東京医大）、甲斐倫明（大分看科大）</p>	<p>C-15 平均的成人日本人女性ファントムを用いたSAFの計算 ○真辺健太郎、佐藤 薫、高橋史明（原子力機構）</p>
<p>A-21 環境中に沈着した放射性セシウムに対する建物周辺の線量分布の解析 ○高橋史明、古田琢哉（原子力機構）</p>	<p>B-22 CT検査に伴う臓器線量の年齢および体型による違いを考慮できるWAZA-ARIの線量計算 ○小野孝二（東京医大）、吉武貴康（新別府病院）、宮崎 治（成育医療センター）、佐藤 薫、高橋史明（原子力機構）、亀井 修（大分看科大）、長谷川隆幸（東海大）、伴 信彦（東京医大）、遠藤 章（原子力機構）、甲斐倫明（大分看科大）</p>	<p>C-16 創傷部鉛汚染ファントムの蛍光X線分析 ○吉井 裕、伊豆本幸恵、柳原孝太、松山嗣史、今関 等、濱野毅（放医研）、山西弘城、稲垣昌代（近畿大）、酒井康弘（東邦大）、栗原 治、酒井一夫（放医研）</p>

A-22 群馬県における環境放射線(能)レベルの推移
○杉野雅人、村中友治、倉石雅彦、河原田泰尋(群馬健科大)、下道園(藤田保健大)

A-23 伊豆大島における環境放射線(能)レベルの推移
○杉野雅人、堀謙太(群馬健科大)、井上一雅、福土政広(首都大)

B-23 日本人女性におけるX線CT検査時の臓器線量の体型の違いによる影響のMC法による検討
○亀井修(大分看科大)、吉武貴康(新別府病院)、西嶋康二郎(大分県立病院)、小野孝二(東京医保大)、小嶋光明、甲斐倫明(大分看科大)

C-17 可搬型および据え置き型蛍光X線分析装置を用いた血中重金属ふき取り測定法の開発
○伊豆本幸恵、吉井裕、柳原孝太、松山嗣史、今関等、濱野毅(放医研)、山西弘城、稲垣昌代(近畿大)、酒井康弘(東邦大)、栗原治、酒井一夫(放医研)

C-18 原子力災害に適應する全身カウンターの管理の在り方に係る考察
○滝本美咲、高田千恵、中川貴博、山崎巧、石川久、百瀬琢磨(原子力機構)

若手研究会・学会共同特別セッション
座長：百瀬琢磨(原子力機構)
14:30~15:30

医療被ばく2
14:15~15:15
座長：山口一郎(保健医療科学院)

B-24 小児CT検査における被ばく評価を目的とした日本人型3歳児人体ファントムの開発
○川浦雅代、藤井啓輔(名古屋大)、山内雅人(愛知医大)、赤羽恵一(放医研)、奈良井和宏(テクノラド)、池田充、今井國治(名古屋大)

C-19 炭酸水素ナトリウムのウラン体内除染効果における投与タイミングに関する実験的検討
○大町康、池田瑞代、今村朋美、穴倉恵理子、金ウングジュ、栗原治、酒井一夫(放医研)

B-25 CT診断における患者線量(CTDIvol)の施設間の分析
○吉武貴康(新別府病院)、長谷川隆幸、勝沼泰(東海大)、石川純也(大分看科大・弘前大)、小野孝二(東京医保大)、甲斐倫明(大分看科大)

C-20 被ばく医療機関で対応可能な放射性同位元素等取扱事業所の空間分析
○小川喜弘(近畿大)

B-26 250MeV陽子線を用いた治療施設の遮へい計算
○角田康英、小川茂美(千代田テクノル)、小川喜弘(近畿大)

C-21 放射線遮蔽シートの用途展開とγ線低減効果
○一瀬直次、伊藤慎吾(日本マタイ)、田嶋宏邦、小西利樹、田中智洋(レンゴー)

B-27 小児陽子線治療における陽子線ビームライン上の構造物からの2次中性子線量の推定
○松本真之介(大分看科大)、河野良介(国立がんセンター)、甲斐倫明(大分看科大)

閉会式(ポスター賞表彰)
15:30~